



# NO LIMITS

## --「ノミのサーカス」からの教訓

あまり知られてはいないものの、サーカスなどの前座でノミが演じる伝統芸に「ノミのサーカス」と呼ばれるものがあるそうです。発祥はパリと言われており、その歴史は古く、ルイ14世も見物したそうで、日本でも昭和11年に中国人の率いる一座が来日し、東京で行われた工芸博覧会で興行を行ったという記録があります。

さて、ここで興味深いのは、トレーナーがノミを訓練する方法です。ノミは、サイズのわりに非常に高くジャンプすることができ、たった2mmという小さな体で30cmの高さまでジャンプすることができます。人間で言うと、80階建てのビルのとっぺんまでジャンプすることに相当するそうです。しかし、サーカスに使うノミは、特定の高さにジャンプさせないといけないので、トレーナーは、わざとノミのジャンプ力を抑制します。

どのように抑制するのでしょうか？ まず、小さな箱や瓶の中にノミを入れます。蓋がないと、ノミは容易にジャンプして飛び出してしまうから、トレーナーは蓋をきちんとして、ただ静かに待ちます。容器の中で、ノミたちは逃れようと必死にジャンプをしますが、当然ながら、蓋にあたっては落ちこみます。そして、何度も何度もジャンプをしては蓋にあたって落ちることを繰り返す内に、ちょうど蓋に当たらない高さにはしかジャンプしなくなるのです。

ついにトレーナーが蓋を開ける頃には、今や容

易に逃げることができるにもかかわらず、ノミはもう高くジャンプしようとはしません。一定の高さまでジャンプすることに慣れてしまったからです。ノミは、自分の限界を決めてしまったとも言えるでしょう。行けると思う高さまではジャンプするのですが、それ以上ジャンプしようとはしないのです。

実際には、ひとつ飛びすれば自由になれるのに、そのひとつ飛びをしようとはしないのです。「バカなノミだ」「蓋が開いていると気がつかないなんて、何という知能の低さだ」と思うかもしれません。

でも、考えてみると、私たちも、「自分の思いの中だけに存在する境界線」によって自分を制限してしまうことがあるのではないのでしょうか？ 頑張ったけれど失敗して、自信を失ってしまうと、次に新しいこと、あるいは何かもっと大きなことに挑戦するチャンスがめぐってきても、自分の力を過小評価し、そのチャンスをみすみす逃してしまったりするなど…？

瓶に入れられたノミが、その小さな世界で高く跳ぶことを忘れてしまったように、自分で制限を作ってしまった人間も、高く飛べるんだということを忘れてしまいがちです。「自分にはできない」と自らを制限してしま

うのは、自分の可能性を奪っていることに他なりません。

それでは、何度も失敗して、このノミのように自分の限界を定めてしまったらなら、それでおしまいなのでしょうか？  
実は、その続きで、またまた面白い事実があるのです。

小さな入れ物に入れられて高く跳ぶことを忘れてしまったノミは、もう瓶の外に出しても、瓶の蓋の高さまでしか跳びません。ところが、そこに、抑制されていない別のノミを連れてきて一緒にすると、不思議なことが起こるのです。隣で元気よくジャンプしているノミを見ると、それにつられて、高く跳ぶことを忘れていたノミも再び高くジャンプするようになるのです。それも、前よりも高く！

人生は新しい始まりと新鮮な可能性でいっぱいです。新しい年を始めるにあたって、ノミの教訓から学ばない手はありません。ノミが入っていた瓶に、もう蓋はありませんでした。想像だけの限界など要りません。過去の失敗や間違いによって自分を制限されるままにするのはやめましょう。助けを求めるなら、神は私たちが自分で設けてしまった「思考の内での制限」を取り除き、神が最初にあなたのために計画された高さへとジャンプできるように助けて下さいます。

そして、神から送られた救い主であるイエスは、あなたの魂をいっさいの重荷から解放し、人生の新しいトレーナーとなって、あなたの能力を最大限まで引き出して下さいます。神が望んでおられる高みへとジャンプするのを助けて下さるのです。

イエスは言われました。「わたしがきたのは、羊に命を得させ、豊かに得させるためである。」(ヨハネ10:10)この時、イエスは天国における永遠の命についてだけ話しておられ

たではありません。もしイエスを心に受け入れるなら、夢にも可能性があるとは思わなかったことが、今、ここで可能になるのです！

イエスの助けがあれば、今まで手の届かなかったゴールに到達できて、妨げられていた悪習慣や弱点を克服することができます。

イエスの力には限界がありません。でもあなたの協力も必要です。あなたにどれほどのことが可能になるかは、あなたがどれほどそれを望み、どれほどイエスの助けを求めるか、そしてどれほどイエスに頼るかによるのです。

まだイエス・キリストのことを知らないなら、まず次の祈りを通してイエスを心に受け入れて下さい。

「イエス様、今私を自由にして下さい。過去の過ちや、悪い習慣、そして、自分で設けてしまった限界から私を解放し、新しいものに向かってチャレンジする勇気と信仰とガッツを与えて下さい。イエス様の名前で祈ります。アーメン。」

自分の意志の力や自己努力を通して変わろうとするのではなく、むしろイエスの力によって進むことを学びましょう。それには、神の御言葉を読んで瞑想し、それを毎日の生活に適用しようとすることです。イエスは約束されました。「あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたにとどまっているならば、なんでも望むものを求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう。」(ヨハネ15:7)

## 不可能を可能にする勇気

- ▶ 岸を見失う勇気がないならば、新しい海を発見することはできない。
- ▶ 信仰の人は、ハシゴのない壁を登り、海図に載っていない海を進む。
- ▶ 発明品の多くは、無学とも言える人々によってこの世にもたらされてきた。それは、彼らが「そんなことは不可能だ」ということを知らなかったからかもしれない。
- ▶ 勇気とは恐れを持たないことではない。それは、恐れを征服することである。

- ▶ 膝ががくがくしているなら、ひざまずきなさい。勇気とは、祈って恐れを乗り越えることである。
- ▶ 開拓者には、ビジョン、信仰、率先力、勇気がなければならない。開拓には危険と犠牲が伴うが、新しいことの開拓は、最も意欲をそそられ、最も胸ときめかせられ、最も栄光に満ち、最も大きな達成感と満足感が得られるものである。
- ▶ 船が嵐を乗り切る最善の方法とは、風と波とに真っ向から直面することである。